

# 青山

AOYAMA

## 梅窓院通信

No.40 2009/01/01

新年号

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島 真成



新年明けましておめでとございます。  
平成もはや二十一年となりましたが、みなさんお  
変わりなくお過ごしのことと存じます。

昨年各種法会、行事にご参加いただきありがとうございました。一度でも多く、また一人でも多くお寺に足を運んでいただくことが、私たち寺が望んでいることです。ご先祖さまのご供養、お墓参りに加え、各種法会で皆さんのお顔をぜひ今年も拝見させていただければと思います。そのために色々工夫を凝らし、お年寄りから若い人までがお寺に足を運びやすくしますのをよろしくお願い致します。

今年の元旦と二日にはお雑煮を用意させていただきましたことにしました。ご家族での初詣にひとつ楽しみが加わるようになります。詳しくは本紙の三面と八面をご覧ください。

こうした新しい試みの一方、定例化する彼岸会でのライブですが、今年は春のお彼岸ライブは行わず秋のみとさせていただきます。またしばらくはこうした試行錯誤を繰り返しながら梅窓院ならではの法会や行事の形態を作っていくつもりですので、ご意見ご指導をお願い致します。

さて、団体参拝旅行は七年に一度の御開帳に合わせ、長野の善光寺にお参りします。日本の庶民信仰の原点ともいえる善光寺の一光三尊阿彌陀仏に皆さんでお参りしたいと思っておりますので、どうぞご参加ください。

また、以前からお知らせしていました墓地内の桜の木の下での整備が始まりました。今春、二月いっぱいを目標に出来るよう進んでいます。お墓の移動をお願いしたみなさまには快くご協力をいただきましたこと、紙面よりも御礼申し上げます。

梅窓院  
泰平観音

初参りの笑顔

新宿区 香蓮寺住職

勝崎裕彦 上人

新

年という新しい年を迎えて、新春という新しい春を迎えて、福寿を祈り、福徳を願うのは、いのちある人としてまことに自然な姿である。年老いた人も年若き人も、男性も女性も、初春・吉春を迎えて心を新たにすることは当然である。心身を新たにすることは当然である。心身を新たに、心身を正す年のはじめである。一年の計に願ひ込められた日本人の精神と生活の在所は、初詣・初参りの習俗文化の中に映し出されているようである。

さて、慶賀の迎春、謹賀新年のめでたさに似合うのは、にこやかな、なごやかな笑顔である。歳時記の季語には、初笑・笑初・初笑顔・初靨とある。新しい年を迎えてはじめて笑うことである。正月元旦、一年の最初に笑うことは、その年一年を笑いに包まれた生活ができることに通じて、たいへんにめでたいこととされてきたものである。

まさに、ことわざにいう「笑う門には福来たる」「笑う家には福来たる」「笑う所へ福来たる」である。笑い声に満ちあふれた和氣藹々の家庭には、おのずから笑顔いっぱい幸福がやってくるのである。まことに、「笑う顔は打たれぬ」、あるいは「笑って損した者なし」の謂のごとく、笑顔と笑顔を分か

ち合つて、重ね合つて、団欒の喜び、樂しさを織り合い、紡ぎ合つてほしい。

ちなみに初笑の季語の隣の項には、初泣・泣初が並んでいる。世の中の習い、人の身の常で、「笑いあれば涙あり」は仕方のないことでもある。初泣の季語には、子供に向けてのいましめ、たしなめの意味が込められているが、乳幼児の元気な初泣、いさぎよい泣初には、その年一年のすこやかな成長を暗示させるようなたのもしさが含まれている。

ここでは「笑つて暮らすも一生、泣いて暮らすも一年」のことわざを、「笑つて暮らすも一年、泣いて暮らすも一年」に置き換えて、新しい一年、笑い合つて、喜び合つて暮らしたいものである。「笑つて暮らす一日」を元日・元旦から積み上げて、積み重ねて、三百六十五日を生きて行きたい。

初笑初泣孫が家の芯 (ひろし)

総じて初笑や初泣に幼子のあどけなさを写す句は多いが、下村ひろしの一句に円満家族の幸福安寧を噛みしめた。

ところで初詣・初参りには三つの様式があるとされる。第一は、その年の恵方(吉方・得方・兄方)、つまりその年

の吉に当たる方位方角の寺社にお参りすることで、恵方詣・恵方拝という。第二は、その年の最初の縁日・会日・齋日にお参りすることで、初薬師・初観音・初甲子などである。第三は、恵方や縁日にかかわらずなく寺社に初参りするこ

とで、全国有名寺社の初詣客の人数については番付順位が発表されて、年賀ニュースの定番となっている。

山口誓子の大きな、おおらかな句である。おだやかな日和と心模様を得た新春のめでたさ、のどかさを謳歌した一句である。

最愛の家族の健康と幸福を祈り願う初詣・初参り。家族揃つての初詣は、一家団欒の心をやさしく育む。親しい知人や善き友人と一緒に初参りは、交誼を温めて、友情を深める。なごやかな笑顔がいっぱい、やさしい、うれしい言葉をお互いに掛け合い、交わし合う。

初春正月の年頭に際して、心身を洗ひ清めて、威儀を正し、意気を改めてひたすらに祈り願うのは、家族生活、社会生活の無事平安である。共生・協調の理想社会の実現を請い願う初詣・初参りである。

(大正大学教授)

第45回 念仏と法話の会

10月27日(月)



津村侑弥上人のご法話

十夜法要・芋煮会

11月15日(土)

九・十・十一月の行事報告

秋彼岸法要・彼岸寄席・お彼岸ライブ 9月23日(火)

お彼岸ライブ



秋彼岸法要の様子

## 梅窓院を囲む日々

「光石」南青山 総料理長

さん

子にある、食事を出すカフェに中島住職が来られたのが縁の始まりになります。

◆**そうですか、住職がその店で さんの腕に惚れたということですね。**

いやあ(笑)

◆**カフェをしていらしたということですが、 さんご自身が料理の世界に入られたきっかけを教えてください。**

きっかけというよりは、もともと料理人になりたい、と思ってまして、大学を中退して大衆割烹へ入りました。

◆**大学中退ですか、ずいぶん思い切られたように思いますが、迷いはなかったのですか？**

ええ、むしろ遅すぎたぐらいかもしれません。

それまでも居酒屋などでアルバイトはしていましたが、学校を辞めて憧れの料理の世界に飛び込みました。ですが、一年が過ぎた頃からですが、このままここに居ては……、と思い始めました。

大衆割烹がいけないという訳ではないのですが、もっと本格的な料理を作りたいと思うようになっていたのです。

そんな時、先輩からの誘いがありました。「椿山荘内のフォーシーズンズホテルで和食の料理人を探しているのだけ」って。それでタイミング良く入れたのです。

◆**目白のフォーシーズンズといたら一流ホテルですね。**

本当だったら入社試験や実技もあったようですが、急いでいたこともあって、フリーパスでした(笑)。

◆**それは運がいいですね。**

そこで約十三年勉強させてもらいました。和食ではまな板の前に立つまでには大変なのですが、いい先輩方に恵まれ色々な事をおそわりました。

◆**そして今の「光石」へ。**

ええ、こちらとの縁もやはり人の紹介でした。こうして振り返ると、たくさんの良い人に恵まれたおかげで今があるのですね。

◆**仏教で大切にしている縁のつながりですね。**

そうかもしれません。ホテルで一通りの仕事を覚えた頃に今度は大学時代の同級生が、先ほどお話した彩石の現社長の弟さんで副社長なのですが、その彼から声を掛けてもらったのです。

彩石さんにとっては最初の飲食店への事業展開だった八王子のカフェに入りました。弟さんとは学生時代に一緒に店を開きたいと話していたのですが、そんな夢が実現したというわけです。

◆**その縁でアルバイトから始められ、ついに総料理長になられたのですね。**

そうですね、こうして振り返ってみると、トントン拍子で恐いぐらいですね(笑)。

◆**それも さんご自身の確かな腕があつてのことでしょうから……。**

**最後の質問ですが、料理人としてのモットーをお聞かせ下さい。**

どんなに美味しい料理でも食べれば形はなくなります。でも「あー、美味しかった」と終わった後に、いつまでも心に形として残る、そんな料理を作りたいというのが私の目標です。ですから「心に残る料理を作る」をモットーにできればと思います。

◆**今日はお仕事に有り難うございました。**

**お正月のお雑煮、楽しみにしています。**



梅窓院での法事後、お清めのお齋(食事)を出してくれているのが、梅窓院の並びにある和食のお店「光石」。その総料理長が梅窓院の新行事となる、初詣にお雑煮を振る舞う企画にご協力いただくことになった。そこで今回は 総料理長を訪ねた。

◆**元旦と二日にわたり六百食のお雑煮を作っていたのですが、意気込みのほどはいかがですか。**

実はだいぶ前から中島住職から依頼されていたのですが、なかなか準備が整わなくて……。ようやく今年からということになりましたのでやる気十分です。

◆**それは楽しみですね。**

**どんなお雑煮を作っていただけのですか？**

住職と相談して関東風のお雑煮にしました。

薄口醤油味にして、具には鶏肉、なると、そこに梅窓院らしく梅型にした京人参と大根。三つ葉と柚子を浮かべ、おもちも丸もちにしました。

◆**美味しそうですね。でも、六百食分というと準備が大変ですね。**

ええ、どんな料理でも大変なのは下準備です。それに今回は数が多いので、大晦日の朝から五人で取り掛かるつもりです。

◆**ところで梅窓院に料理を出されるようになったのはなぜなのでしょう？**

それはこの店の経営母体が彩石という石屋さんで、梅窓院の協力会社として建墓などの仕事をさせていただいているからです。

そして彩石以前のサイセキという社名時代に開いた八王



食べた人の心に残る料理を目指し真剣に調理する。

## プロフィール

埼玉草加生まれ38歳。「光石」料理長。大学時代に料理に目覚め大学を中退、大衆割烹に勤務。その後、目白のフォーシーズンズホテルで和食の腕を磨いた後、「光石」に開店とともに総料理長として迎えられる。



お正月のお雑煮を作るスタッフに集合してもらった。



# 金龍山 浅草寺

## 本堂落慶50周年

### 聖観音宗

東武伊勢崎線 浅草駅  
東京メトロ銀座線 浅草駅  
つくばエクスプレス 浅草駅  
都営地下鉄浅草線 浅草駅



浅草寺のシンボル五重塔。浅草寺は聖観音宗と  
いって浅草寺とそれを取り巻く24のお寺で一つの  
宗派となっている。



ご開帳された本尊と  
結ばれた五色の糸に  
触れることで観音様と  
の縁が結ばれる。



今回のメンバーは左から  
さん、さん、  
さん、さんでした。

東京を代表する浅草。  
その顔ともいえる浅草寺の  
本堂が50周年を迎えた。  
記念に普段は公開されて  
いない伝法院の庭園や絵馬  
が特別公開された。  
普段から観光客であふれ  
る境内がさらに賑わうなか、  
みなさんと訪れた。

東京の浅草に  
こんな日本庭園が!!

左のページの回遊式庭園、奥に見  
えるのが、何あろう、そう浅草寺の  
五重塔。

今回のぶらり門前膝栗毛は急な取  
材となり、詠唱教室のお仲間中心で  
訪れることとなったが、その皆さん  
が驚いたのがこのお庭。浅草といえ  
ば仲見世や六区といった雑踏かまび  
すしい繁華街のイメージが強いだけ  
に、その真ん中にこんな情緒あふれ  
る日本庭園があるなんて！ とスタ  
ッフも含め全員がびっくり。

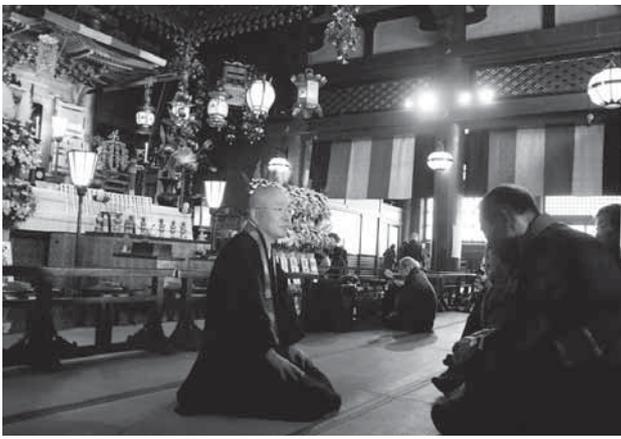
通常は非公開で外からは一切見え  
ないが、今回は昭和33年に造られた  
本堂の50周年記念ということから、  
本尊のご開帳とともに特別に一般公  
開されたもの。正確に言うくと浅草寺  
本坊であり修行道場でもある伝法院  
の庭園で江戸時代初期の寛永年間に  
かの小堀遠州によって作庭されたと  
伝えられる名園だ。

この庭園まで案内して下さった  
執事によると、一般公開にあ  
たっての準備は相当大変だったとの  
こと。とはいえ、またこれで浅草寺  
の参拝客が増えれば観音様も喜ばれ  
ますから、ということだった。

その本尊、聖観音様を拝ませてい  
ただき、五重塔も真下から見させて  
いただき、さらに昔の浅草の町並を  
再現した浅草奥山風景の散策と、今  
回のぶらり門前膝栗毛も楽しい道中  
となりました。

浅草寺本坊の伝法院の回遊式庭園。広い東京の空に五重塔がそびえている。





浅草寺本堂内で 執事にお話いただいた。



特別に五重塔の足元での記念写真。  
真ん中のご僧侶は浅草寺の 執事。



観光客でにぎわう浅草奥山風景。  
様々な実演も行なわれていた。



浅草寺でご祈祷  
された小判。

定  
此小判は平成二十年十月日より  
同十月二十五迄小判通用店の  
表示された店で一両三百円で  
通用致し候  
ただし現金は取替られぬ事御承知  
おき願ひ候  
浅草 勘定奉行

「ぶらり門前膝栗毛」お檀家編集員募集中！  
私たちと一緒にお寺巡りをしてくださる方を募集  
しています。沢山の応募お待ちしております。  
お問い合わせ  
青山文化村 TEL 03-3404-8588

隅田川の花火、三社祭りにお西さま、  
そしてほおずき市と浅草名物は数あれ  
ど、浅草の象徴といえは今もむかしも  
浅草寺。およそ千四百年、隅田川から  
あげられた観音様を祀った草創期から  
江戸の最盛期、そして現在と浅草寺は  
いつの時代も参拝客で賑わっている。  
その境内の西方に奥山と呼ばれ、江  
戸の昔、大道芸などで賑わった場所が  
ある。その奥山の江戸時代の面影を今  
に再現しようと50周年記念に合わせて  
浅草寺と浅草観光連盟が協力して開催  
したのが、江戸の浅草の町並みを再現  
した浅草奥山風景だ。  
参拝後の物見遊山はお寺参りの楽し  
みのひとつ。観音様と縁を結んでから  
味わう江戸風情はまた格別の趣だった。



浅草 いま、むかし

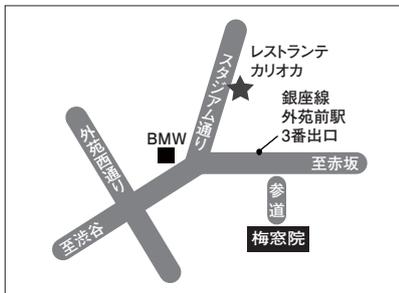


レストラン カリオカ

元サッカー日本代表選手の手  
モス・瑠偉さんがプロデュースする  
ブラジル料理の店「レストラン  
カリオカ」。

スタジアム通りにひとときわ目  
立つブラジル国旗が目印だ。

運ばれてきた日替わりのラン  
チプレートは、日本の方にもブラ  
ジル料理のおいしさを伝えたい  
というラモスさんの言葉通り、そ  
の味は優しく老若男女問わず  
楽しめる。セットのスープはカン



営業時間／ランチ11:30～15:00(LO 14:30)  
ディナー18:00～24:30(LO 23:30)  
定休日／無休  
席数／52席(うち、個室6～7名)立食70名  
住所／東京都港区北青山2-7-25神宮外苑ビル2F  
TEL／03-5414-1010・FAX／03-5414-1066



◀白を基調とした清潔感のある店内。色鮮やかなサッカーボールが飾られ、試映映像が流れている。



▲ラモスさんゆかりの貴重な品も。



▲ビーフのトマト煮とカンチャランチメニューはシェフのお勤め本日のランチプレート1,000円とステーキランチ1,500円の2種類。

ジャといい、不思議な食感で、お米が入っているのだそう。

おススメはお馴染み、シユハス  
コ。串に肉を刺し、丸焼きにして  
一人一人に切分ける豪快な料理  
だ。そして女性に人気のポンジ  
ケイジョというもちもちのチー  
ズパン。あまりのおいしさにテイ  
クアウトされる方もいるという。  
夜は生のボサノバも聴けるカ  
リオカで、本格ブラジル料理を味  
わってみてはいかがでしょう。

青山俳壇

選者「ウエップ俳句通信」編集長

大崎 紀夫

◎特選

○ 大刈田影ひとつなく陽を受けて

◎佳作

○ 白壁の白を濃くせり唐辛子

○ せせらぎの一筋光る花野かな

○ 仏桑花咲きつぐ島や空のあを

○ カーテンを練れば空に秋近し

○ 笹の葉にいのちをあげけ露の玉

○ 秋うらら仏ヶ浦の岩巡る

○ 天高く仰げば長き飛行機雲

○ 紅葉の訪れ捜す箱根山

◎選者詠

○ 釣りきたる鯉の天ぶら揚がりけり

大崎 紀夫

〈フポイントアドバイス〉

「一月の川 一月の谷の中」の名吟で知られる飯田龍太が生涯で使った季語は約八百三十。意外に少ないかもしれませんが、ひとつひとつの季語をしっかりと吟味して使ったのでしよう。人によって得意な季語、不得意な季語がありますが、わたしの場合、時に不得意と思える季語に挑戦しています。そうしていくつかの俳句を作っていくうちに、観察力の不足、発想の欠点などに気づいていくことが結構あるのです。

万能役者 大根

食は命

食養研究家 武鈴子

第三十三回

つきたての餅を大根おろしで食べる「からみ餅」は、大根の薬効を上手に生かした典型例で、少々餅を食べ過ぎてても容易にもたれることはありません。正月の「鏡餅」になぞらえて、大根の別名を「鏡草」というのも、その高い消化力を買われて、古くから雑煮につきものとされてきたからです。イワシやサンマなどの脂っこい魚や天ぷらに、必ずおろしが添えられるのも、後味を淡白にして、魚の臭みを消し、脂肪の分解を促進するためです。

大根は、古くから胃腸を温めて消化を助け、食中毒を防ぐ効果のあることも知られていました。現代栄養学でも、でんぷんの消化酵素、たんぱく質と脂肪の消化を助ける酵素、胃液の分泌を促す物質を多く含み、消化を促進し、整腸作用のあることが認められています。「大根役者」は当らない役者のことを言いますが、どうしてどうして本物の大根は、いくら食べても当たらない。また、風邪の時ののどの痛み、咳止め、痰を切る働きがあるので、昔から『大根飴』が愛用されてきました。なかなかの「万能役者」といえましょう。

……大根飴の作り方……

大根を1cm角のサイコロに切り容器に入れ、同量の蜂蜜を加える。2～3時間して大根がしんなりしてきたら出来上がり。エキスを飲む。

武鈴子先生の著書

『旬を食べる 和食薬膳のすすめ』 1,365円

『薬膳で読み解く江戸の健康知恵袋 いろはに食養生』 1,365円  
家の光社より好評発売中!

投句募集

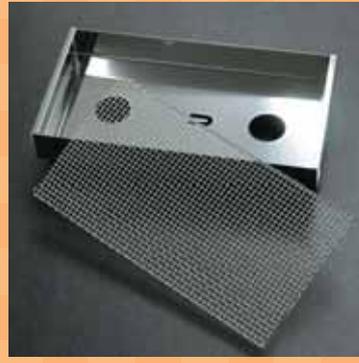
今回は「冬の季語」でご自由にお詠み下さい。1月15日を締切、平成21年3月発送の『春彼岸号』にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投句をお待ちしております。  
〒107-0062 港区南青山2-26-38  
梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。  
ウエップ編集室  
電話03-5368-1870

梅窓院よりのお知らせ

お墓参りでお線香の灰をお掃除される時、誤って線香皿の網(写真参照)も一緒に捨てられてしまう事がありますので、皆様ご注意ください。



梅窓院  
だより

元旦と2日にお雑煮を振舞います。ご家族皆様でお参りください！

元旦：午前8時～午後3時(予定)  
2日：午前9時～午後2時(予定)  
場所 観音堂エントランス  
☆無くなり次第終了となりますのでご了承ください。



当日のお雑煮の内容は、写真と異なる場合があります。

行事予定

第46回 念仏と法話の会

2月13日(金)  
時間 12時半～(受付12時より開始)  
法話 「念仏者はいかに」  
佐賀教区鏡智院住職 中村一之上人



仏教講座

全講座：受講無料  
時間：午後6時～8時 / 場所：観音堂

仏・菩薩 — その教えと信仰

勝崎裕彦先生  
(香蓮寺住職 大正大学教授)  
③2/19(木) 十三仏信仰

水陸会 — 現代中国の仏教儀礼

阿川正賢先生  
(浄土寺住職 大正大学講師)  
②1/26(月) 水陸会・その歴史  
③3/ 2(月) 水陸会・その内容

日本の阿弥陀仏信仰の展開

新井俊定先生  
(天然寺住職 大正大学出版会主管)  
②1/21(水) 鎌倉期の阿弥陀仏信仰  
③2/24(火) 鎌倉期以後の阿弥陀仏信仰

墓と供養 — 民俗学の視点から —

本林靖久先生  
(真宗大谷派僧侶、大谷大学・佛教大学講師)  
③3/31(火) 霊場崇拜と納骨信仰

※各講座第3回目の最終講座は、後半、茶話会となります。講師の先生方や受講生同士、この機会に交流を深めてください。

平成21年  
年間行事予定

第46回 念仏と法話の会  
2月13日(金)

春彼岸会法要・寄席  
3月20日(金)

はなまつり  
4月4日(土)～8日(水)

団体参拝旅行 ～長野 善光寺～  
5月中旬予定

第47回 念仏と法話の会  
6月19日(金)

郡上おどり in 青山  
6月20日(土)・21日(日)

盂蘭盆会法要  
7月13日(月)

大施餓鬼会法要  
7月21日(火)

秋彼岸会法要・寄席・お彼岸ライブ  
9月23日(水)

文化講演会  
10月中旬予定

十夜法要・芋煮会  
11月21日(土)

※予定は変更になる場合もございます。ご了承下さい。



彼岸寄席

彼岸風景



はなまつり



郡上おどり



大施餓鬼会法要



お彼岸ライブ

十夜法要・芋煮会



一年半ぶりに「ぶらり門前膝栗毛」で浅草寺をお参りました。本堂再建五十周年記念御開帳で参拝客も多く、大変なごわいでした。御開帳と言えば、今年度の団参は長野善光寺へ参拝致します。七年に一度の御開帳、皆様のご参加をお待ちしております。  
尚「ぶらり門前膝栗毛」お檀家編集員、募集中です。(智)

編集後記

発行 梅窓院  
発行日 平成21年1月1日  
発行人 中島 真成  
編集 青山文化村  
住所 〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38  
電話 03-3404-8447  
FAX 03-3404-8446  
ホームページ http://www.baisouin.or.jp/  
E-Mail jodo@baisouin.or.jp  
題字 中村康隆前浄土門主 総本山知恩院第八十六世門跡